

6 指導計画 全6時間 (18Q)

別紙「単元カード」参照

7 本時の構想<第1日目> 3/6時間 (60分授業)

(1) 本時のねらい (本時 3/6時間目)

状況や道具を限定することで、非常時の1食分の工夫をどうするか話し合うことができる。

(2) 展開

学習活動と子どもの姿 ☆資質・能力	教師の働き掛け
<p>1 乾パンと炊いたご飯を試食したときの感想を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯は、温かくて美味しかった。 ・塩だけでも美味しかった。 ・乾パンは、口の中がばさばさする。飲み水がないのに、食べにくい。 ・寒い中で食べるなら、やっぱり温かいものが食べたい。 <p>2 教師の提示した道具で、調理ができそうか話し合う。</p> <p style="text-align: center;">☆①知識・理解、協働性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米があるよ。ご飯が炊けるよ。鍋があるし、水が使えるよ。学校でやったことあったよね。 ・でも、鍋が汚いままだよ。 ・洗えばいいんじゃないの。 ・でも、水が500mlしかないよ。洗ったら水がなくなっちゃくよ。 ・ポリ袋が、鍋の代わりになるんじゃない。 	<p>○指示「非常時1日目の乾パンとご飯を試食したときの感想を確認しましょう」</p> <p>○指示「本当の非常時だと想定します。本日は、非常時2日目です。ライフラインがとまっている状態ですので、先生の携帯電話に次のような連絡が入りました」</p> <p>○連絡「5年2組の皆さんは、元気ですか。体調を崩していませんか。まだ、道路も通行できる状態ではなく、交通機関は遮断され、子どもは、帰宅することができません。学校のライフラインも止まったままです。引き続き学校で過ごさなくてはいけないことを子どもたちに伝えてください」</p> <p>※教師の携帯電話に連絡が入ったという設定 子どもには、CD音声で聴かせる。</p> <p>○提示「学校で使える道具と支給されたものは、これだけです」</p> <p>○発問「みんなでこのピンチを乗り切るために、自分たちで食事をつくらなくては行けません。この道具で調理できそうですか」</p> <p style="text-align: right;">【働き掛け1】</p> <p>※提示する道具 ペットボトルの水500ml, 米, 1日目で使ったままの鍋, 卓上ガスコンロ, ガス缶, ゴミ袋(ポリ袋), ウェットティッシュ, アルミホイル, 割り箸 等</p> <p>※災害時の状況設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きて2日目 冬で寒い。 ・ライフラインは、復旧していない。
<p>3 非常時の食事として限られた条件と道具でご飯を炊く。</p>	<p>○発問「ポリ袋でご飯が炊けそうだという意見が出ていますが、やってみますか」</p> <p>○指示「ポリ袋でやるご飯の炊き方を確認しましょう」</p> <p>※できるだけ非常時に近い状況にして調理させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身支度はしない。 ・調理台ではなく作業台のままにする。

<p>4 非常時の食事，1食分を考える。 ★防災教育，①知識・理解，協働性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜が残っているよ。 ・どうやって食べる。 ・何が，つくれるかな。 	<p>○指示「先ほど，情報が入りました。残念ですが，まだライフラインが復旧していないそうです。交通機関も遮断されたままです。夜も学校で過ごさないといけないかもしれません。ご飯が炊けるまでに，今日の夜の食事を考えませんか」</p> <p>○提示「家庭科室の冷蔵庫を見たら，こんなものがありました。6年生と調理実習をした残りです。みんなと調理実習したときのものもありましたよ。そして学校の備蓄庫には，こんなものがありました」</p> <p>※実物を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室冷蔵庫にあったもの みそ，塩，ジャガイモ，人参，大根 ねぎ，乾燥わかめ，だしの素，卵 ベーコン，ツナ缶，等 ・学校の備蓄庫にあったもの 水・米 <p>※実物と写真カードを各班に1セット用意しておく。</p> <p>○発問「この食材で，どんな食事ができそうですか」</p> <p style="text-align: right;">【働き掛け2】</p> <p>○指示「ご飯が炊けるまで話し合ってください」</p> <p>※話合いの内容をメモできるホワイトボードを用意する。</p>
<p>5 炊けたご飯を試食する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごい，本当にポリ袋でご飯が炊けたね。 ・炊きたては，温かくて美味しいね。 ・ご飯だけじゃなくて，おかずとかあるといいのにね。 	<p>○指示「次の時間に，ご飯だけを食べた感想を聞かせてください。」</p>

(3) 評価

- ・道具を限定したことから，子どもは，知識・技能を発揮してポリ袋でご飯を炊くことができたか。
- ・教師が提示した食材から，協働性を発揮して非常時の1食分を話し合うことができたか。

6 指導計画 全6時間 (18Q)

別紙「单元カード」参照

7 本時の構想<第2日目> 4/6時間 (45分授業)

(1) 本時のねらい (本時 4/6時間目)

非常時の食事に必要な要件で課題を設定し、よりよい非常時の食事の調理方法を見だし、計画を立てることができる。

(2) 展 開

学習活動と子どもの姿 ☆資質・能力	教師の働き掛け
<p>1 ご飯だけの調理から、どんな食事がいいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足です。非常時だから、温かいものを食べることができて、嬉しいからです。 ・あるもので、過ごすことが大事です。 ・満足できません。非常時でも、栄養は大事だし、できるだけ美味しいものが食べたいです。 ・あるもので、できるだけ美味しいものをつくって食べたいです。 <p>・「美味しい」「温かい」「健康」の3つが挙げられます。</p> <p>・食材と道具です。</p> <p>・みそ汁ができそうです。</p> <p>・大根とかゆでることができそうです。</p> <p>2 班で考えた1食分を見直し、改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと1日あるなら、食材や水が足りないね。 ・フライパンがないなら、炒められないや。 ・アルミ箔で炒められないかな？ ・危ないし、破れそうだよ。 ・やっぱり、ポリ袋でできる調理がいいみたいだ。 ・1食分は、みそ汁をつくったことにしよう。 ・ショウガ湯もいいね。 	<p>○指示「昨日、ポリ袋で調理をしましたね。」</p> <p>○発問「お腹と心は、満足しましたか」 【働き掛け3】</p> <p>※挙手で確認する。</p> <p>○指示「満足したという人、理由を聞かせてください。」</p> <p>※同様に「満足しなかった」に挙手した子どもの感想も聞く。</p> <p>○発問「どんな非常時の食事がいいのかな。キーワードがありそうかな」</p> <p>○指示「その3つのキーワードで調理しなくてはいけないんだけど、キーワードだけじゃ調理はできませんね。何が必要ですか」</p> <p>○指示「では、道具と食材を確認しましょう」</p> <p>※食材と道具を確認し、ポリ袋調理のよさも確認する。</p> <p>○発問「限られた道具でポリ袋でできそうな調理は何でしょう」</p> <p>※非常時の設定あと1日あるということを確認する。</p> <p>○発問「確認したことなどから考えて班で考えた1食分は、それでいいですか」 【働き掛け3】</p> <p>○指示「昨日考えた1食分を見直して、1食分をどんな調理にするか決めてください」</p> <p>○指示「1食分は、決まりましたね。本当の非常時だと想定します。本日は、非常時3日目です。ライフラインがとまっている状態ですので、きっと先生の携帯電話に連絡が入ります。次のような連絡が入りました」</p> <p>○連絡「5年2組の皆さんは、元気ですか。体調を崩していませんか。まだ、道路も通行できる状態ではな、交通機</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 3日間もご飯は、困ります。 ・ 体調悪くしそうです。 ・ 他のものも食べたいし、つくってみたい。 	<p>関は遮断され、子どもは、帰宅することができません。新たな物資も届いていません。学校のライフラインも止まったままです。引き続き学校で過ごさなくてはいけないことを子どもたちに伝えてください」</p> <p>※教師の携帯電話に連絡が入ったという設定 子どもには、CD音声で聴かせる。</p> <p>※支給ボックスを配る。</p> <p>○発問「さて、次の連絡がくるまで過ごすには、最低でもあと1食分つくらなくてははいけません。もう3日間目です。あと1食ご飯だけで過ごしますか」</p> <p>○指示「食材は、昨日先生が出した家庭科室にあったものと学校の備蓄庫にあったものしかありません。しかも昨日、皆さんがこの中から1食分使ってしまったよね」</p> <p>○発問「皆さんが、今考えなくてはいけないことは何ですか」</p> <p style="text-align: right;">【働き掛け4】</p>
<p>限られた条件と食材で、1食分の非常時の食事をつくるにはどうしたらよいか</p>	
<p>2 思考ツールを使って考え、話し合う。 ★思考力・判断力、ツール活用能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コアマトリックスを使います。 ・ ベン図を使います。 ・ 味は、ついてたほうがいいよね。 ・ ご飯は、ご飯で食べるとしたら、おかずが必要だよ。 ・ ポリ袋でゆでることができるから、ゆでるおかずがつくれそうだよ。 ・ 食材をそのままでも食べることができるものと調理しないとイケないものに分けてみよう。 ・ 味を付けるのに使える食材は、どれだろう。書き出してみようよ。 ・ みそがあるから、みそ汁つくれそうだよ。 ・ 大根やジャガイモを煮てみようよ。 	<p>○指示「昨日の1食分で使ったものは、なくなったものとし、封筒に入れます。ただ分量として、まだ残っている予定のものは、そのままでもいいです」</p> <p>○発問「これから班で話合いますが、話合いにしたいものがあったら、言ってください」</p> <p>※子どもが、選択できるように様々な思考ツールシート等を用意しておく</p> <p>※昨日提示した食材（板書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科室冷蔵庫にあったもの みそ、塩、ジャガイモ、人参、大根、ねぎ、乾燥わかめ、だしの素、卵 ・ 学校の備蓄庫にあったもの ベーコン、ツナ缶、等 ・ 水
<p>4 調理計画を立てる。</p>	<p>○指示「話し合ったことを基に、調理できるように調理計画を立てましょう」</p> <p>※調理計画を用意する。</p> <p>○指示「次の時間に、立てた調理計画を基に、実際に調理してみましょう」</p>

(3) 評価

状況設定の更新により、非常時の食事に必要な要件をもとに、思考力・判断力を発揮して、よりよい調理方法を見いだすことができたか。